

令和 6 年 6 月定例会

建設委員会資料
(建設部)

古川排水機場本体整備工事の進捗状況について

1 工事の概要

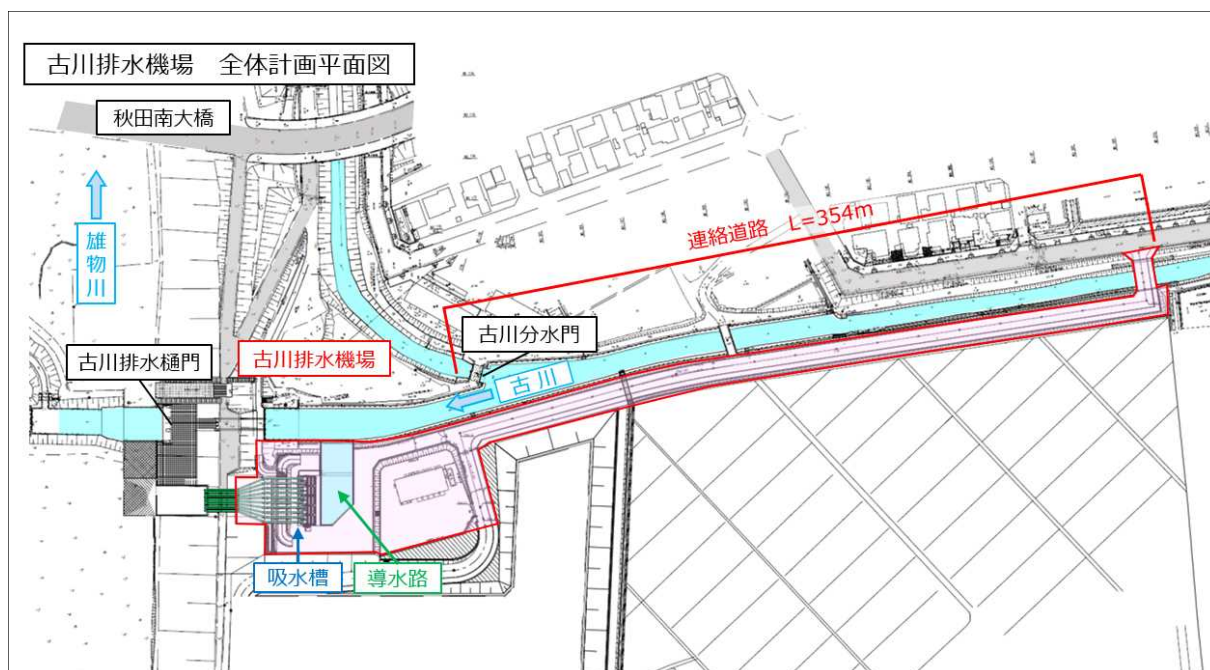
場 所 四ツ小屋字中山地内

契約金額 967,890,000円

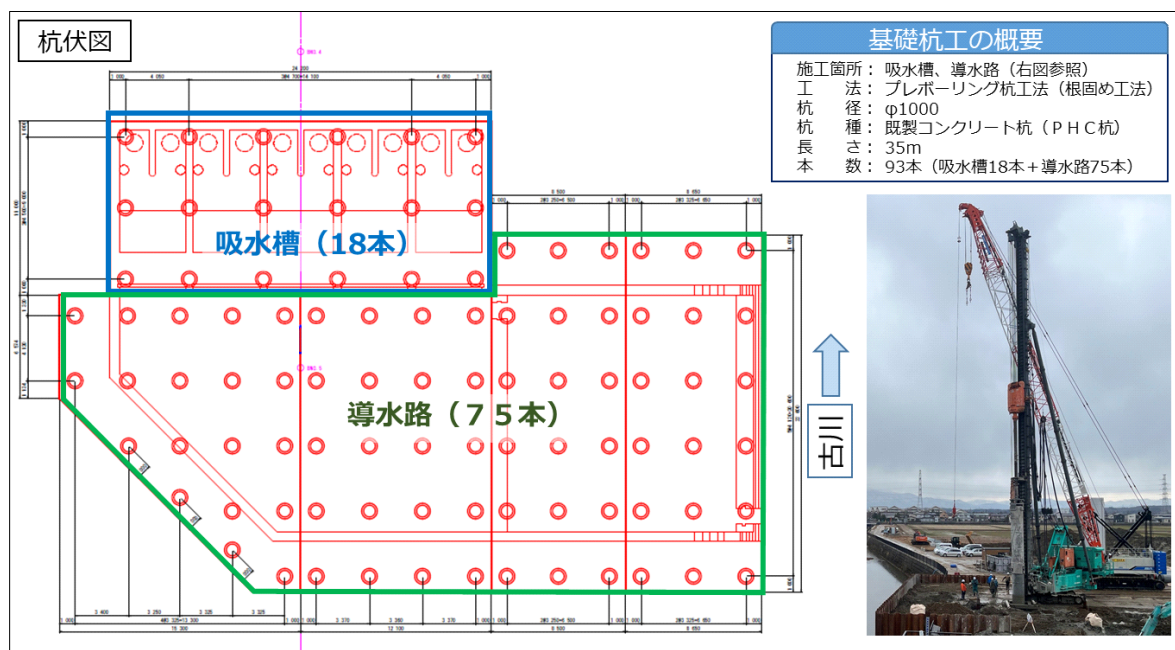
受注者 伊藤工業・英明・加藤建設特定建設工事共同企業体

工 期 令和5年9月29日から令和8年3月19日まで

工事内容 機場本体 既製杭（PHC杭φ1000）、35m×93本、
吸水槽 W24.2m、L11.6m、H5.0m
導水路 W16.2m、L41.3m、H5.2m
連絡道路 幅員9m（車道6.5m、歩道2.5m）
延長354m



2 基礎杭工と現在の施工状況



3 今後の予定

受注者から週休二日制モデル工事の実施希望があり、今後の達成状況に応じて労務費等の割増補正を行うことにより、増額変更が見込まれる。

特定都市河川の指定について

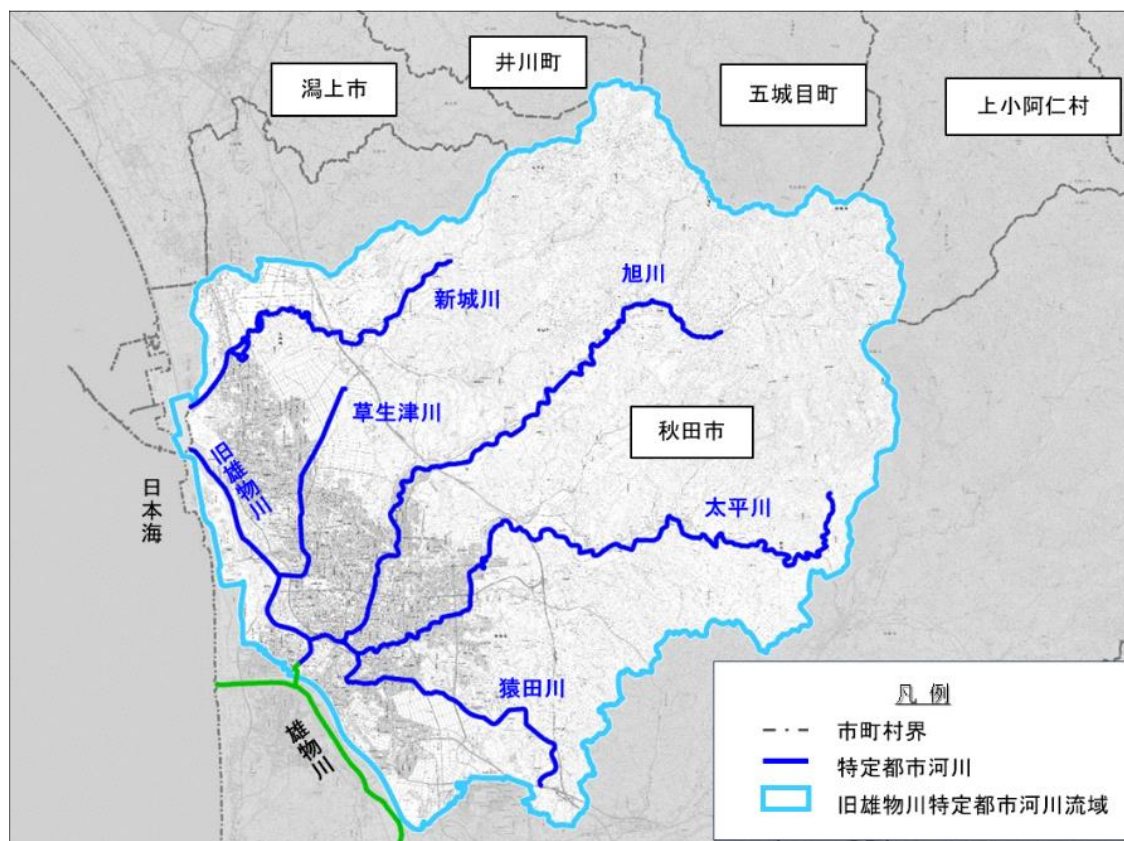
1 指定に向けたロードマップの公表

秋田県から、令和6年3月27日付けでホームページにより、特定都市河川の指定に向けたロードマップが次のとおり示された。

水系	代表河川	指定河川数	実施主体	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度～
雄物川水系	旧雄物川	6河川	秋田県 秋田市	合意形成	指定	計画 検討	計画 策定	浸水被害対策の実施

2 指定の概要について

令和5年7月豪雨を受け、秋田県では、特に秋田市中心部において、内水氾濫も重なり、6,000棟を超える浸水被害が発生したことから、流域治水の取組を加速させるため、11月上旬に旧雄物川流域の6河川を特定都市河川に指定することとしている。



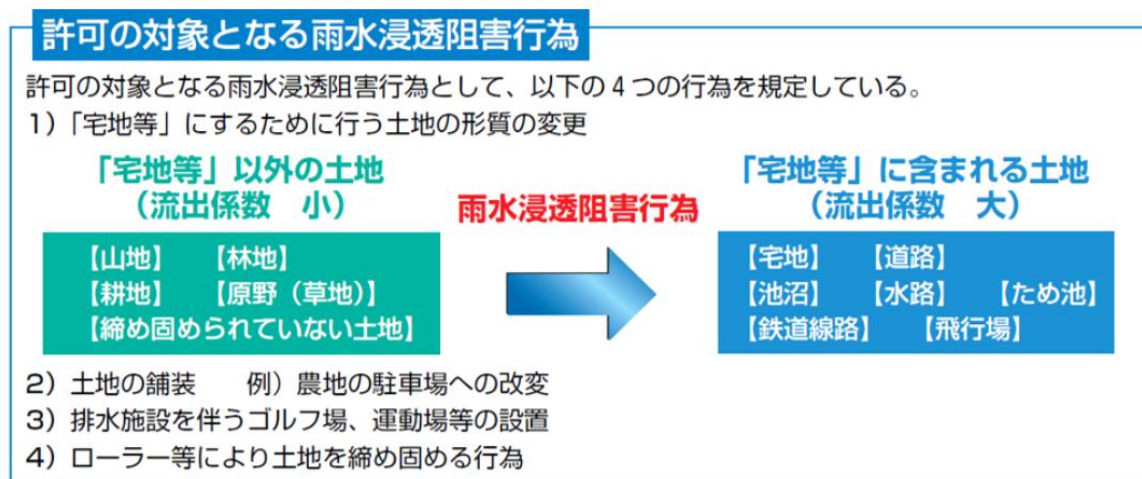
特定都市河川の指定対象河川とその流域

3 特定都市河川浸水被害対策推進事業（個別補助事業）

特定都市河川の流域において、県、市および民間事業者等による河川や雨水貯留浸透施設等の整備が、計画的かつ集中的に実施されるよう国が事業費の一部を補助するものであり、当該補助事業の活用により、ハード対策の加速化を図る。

4 開発等に伴う雨水流出増に対する流出抑制対策の義務付け

宅地等以外の土地で行う1,000m²以上の雨水浸透阻害行為（流出雨水量を増加させるおそれのある行為）に対し、県知事等（中核市では市長）の許可が必要となる。許可に当たっては、流出雨水量を増大させないようにする対策工事（雨水貯留浸透施設の設置）が義務づけられる。



国土交通省HPより

5 県による今後のスケジュール

令和6年度

- | | |
|---------|--|
| 7月上旬 | 法定意見聴取（県知事から秋田市長へ）
広報誌やウェブサイト等による周知 |
| 7月中旬～下旬 | 住民説明会（県・市共同開催） |
| 7月下旬 | 国土交通大臣へ同意付協議 |
| 11月上旬 | 特定都市河川指定の公示
流域水害対策協議会の設置 |

令和7年度

流域水害対策計画の策定

ワンコイン浸水センサ実証実験について

1 ワンコイン浸水センサ実証実験について

- (1) 近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、面的に浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっている。
- (2) 国土交通省では、センサを用いてリアルタイムに浸水状況を把握する仕組みの構築に向けて、民間企業と国や自治体等の様々な関係者がセンサを設置し、センサの特性や情報共有の有効性等に関する実証実験を行っている。
- (3) 秋田市は、「令和6年度ワンコイン浸水センサ実証実験」1次公募に応募し、3月19日付けで新規参加自治体として認められた。

※令和6年度1次公募による新規参加者：自治体76、企業団体等15



国土交通省HPより

2 秋田市における実証実験の概要

- (1) 令和5年7月豪雨で浸水被害を受けた地区など市内20箇所に設置する。
- (2) 国土交通省より浸水センサの提供を受け、6月中旬から設置を進めており、今月末までに全ての設置が完了予定。
- (3) 実証実験を通じて、センサの有効性等の検証を行い、急な道路冠水や内水氾濫においてもいち早く把握することで、早期対応や浸水被害の軽減に活用したい。